

クリスマスイブ

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

客

店員

クリスマスソングが流れるレストラン。
二人席に男が一人座っている。周りの席も客で埋まっている。男はまるで向かいの席に女性が座っているかのような素振りをしている。男、ナイフとフォークを
使って料理を食べている演技。

男
ん？ 美味しい？ うん。これ、凄いいね口
の中で溶けた。…うん、一年前に予約した。

男、「女の口の横にご飯粒ついてるよ」の身振り。女
がご飯粒取ったタイミングで微笑む。

男
…(イブに店の予約と違って)したことな
いよお。初めて。イブに栗山さんと一緒に
来たいなって思ってた。

女の声が小さいらしく、男、「ん？」って風に耳を近
づける。

男
…そう言ってくれると俺も。うん。…よかつ
た。

男、横を向く。夜景が見えるらしい。

男
…すごいよね。ね。俺ずっと球体だと思っ
てたんだけど、円柱型だったんだね、マル
ビルって。(女が咽せたらしく)あ、大丈夫？
お水。あ、何かおかわり頼む？ 大丈夫？
…え？ 何？

女、プレゼントを出してきたらしい。

男
え？ 俺に？ マジで？ うわ、ありがと。
(異様にでかい箱を受け取る) 開けていい？
(箱の包装を解く) えー、何かな？

男、箱の中身を見る。驚く。女を見る。箱を見る。女
を見る。

男
おおおおお。えええ？ これ欲しかった
奴。うわあ、ありがとう。おお。…うわ、
早速明日これで食パン焼くよ。…あ、じゃ
あ俺も。はい。

男、プレゼントを出す。BGM、FO。

男
あ、ごめん、ポケットに入れてたから。…
うん。あ、家帰ってからの？ あ、うん。楽
しみにしてて。…今？ 開けて開けて開け
て。

男、女が包装を開けるところをじっと見ている。女開
けたらしい。女が何か話している。

男
…うん。はめてみて。

はまらない。どうしてもはまらない。

男
あ、うん。大丈夫。交換して来るから。…
栗山さん、この後って時間大丈夫？ いや
あの、よかつたらね、この後ちょっとブラ
ブラしないかなって思ってた。

店員、男の横に来る。

店員
あの、お客様、お客様。

男
はい？

店員
お楽しみ中の所すみません、他のお客様
が不安がっておられますのでえ、店内での
独り言はお控え頂きたいんですけどお。

男
…え？

店員
他のお客様が不安がっておられますのでえ。
お控えいただきたいんですけどあ。

男
何をですか？

店員
ですからあのお、独り言を。他のお客様、
楽しんでらっしゃるのでえ。

男
独り言ですけど。独り言禁止と違ってルー
ルがあるの？

店員 いえ、そういうのはないんですけどお。ずっと

といたない人に向かって話しかけられてるみたいでしたので。

男 いえ、純粹に独り言ですけど。

店員 ちょっとご配慮願えたらと思ひましてえ。

男 はあ。

店員 申し訳ございませんー。

店員、去る。

男 「イブなんだから大目に見てくれてもいいのに」「ホントにね」「ごめんね、嫌な思いさせて。悪い、悪くした?」「ううん、全然大丈夫。でもあの店員さん、きつと出世しないよね」「だよね」。

店員、男の席にやって来る。

店員 お客様あ?

男 はい?

店員 大変申し上げにくいんですがあ…。

男 …一応相手がいるって体で喋ってたんですけど。さつきちよっと見せ方が甘かったから、わかりづらかったのかなって思ってた度には相手の台詞も入れてみたんですけど。

店員 ああ…。でも他のお客様にちよっと迷惑になっておりますのでえ。

男 そんなに声大きかった?

店員 えっと。

男 向こうのさあ、向こうの人と同じくらいの声だけ?

店員 いやあ、あちらのお客様は会話ですのでえ。

男 …え? 誰が言ってきたんですか?

店員 いええ、誰がというわけではなくて。

男 今日、イブなんですけど。

店員 ええまあ、そうなんですがあ…。あと、席元の場所(テーブルの横)に戻していただけますか。こちら(客席側)壁ですのでえ。すいませんがお願いします。

店員、去る。

男 どうしていつもこうなってしまうんだろう。

男 二〇〇九年のクリスマスイブ。やっぱり僕は冴えない人生を送っていた。美味しいご飯、そして夜景が見えるレストラン。ロケーションは最高なんだけど、僕の気持ちは一向に晴れない。そう、栗山さんなんて実在しないのだ。僕は…。

店員、男の席にやって来る。

店員 お客様モノログ中大変申し訳ないんですがあ。

男 はい?

店員 他のお客様のご迷惑になりますのでえ。

男 僕ね、今モノログ中に栗山さんがいないこと説明したじゃないですか。栗山さんいるんじゃないかなって思ってた人の不安は取り除いたつもりなんですけど。

店員 申し訳ありませんが、独り言の方を差し控えていた方がいいんですけど。

男 (立って店内を見回し) 誰が言って来てるんですか?

店員 誰がというわけではなくて。

男 お一人様は喋るなど?

店員 いえ、そういうわけじゃないんですけどお。そういうわけじゃないって、そう言ってるよ? お一人様は喋った時点で独り言になるよ? え? お一人様がイブ満喫しちゃいけないの?

店員 いえ、決してそのようなことはないんですがあ。ちよっと独り言はお控えいただけますか。お願いします。

店員、去る。

男 …。ふう。

男、席を立ち、舞台の端へ。レジでお金を払う仕草。

男 あ、三円あります。



退場。男、戻って来る。

男
ただいま…。

男、テーブルを横によける。

男
何やねん、あの店員。あーもう腹立つなあ。
イブやん。ええやん。ブログに店のこと書
いたろかな。

男、自分の部屋で冷蔵庫を開けてビールを取り出すぜ
スチユア。
店員、男の席にやって来る。

男 店員
お客様！
男 はい。

終わり。